

科目名		授業形態	担当教員名	
吃音Ⅱ（成人）		講義	久保田 功	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
吃音で悩む青年期・成人期の吃音者は多く、言語臨床へのニーズは近年ますます高まっている。しかしながら、吃音臨床に携わる言語聴覚士は少なく、中でも青年期以降を対象とする言語聴覚士は稀少である。本授業を通して学生諸氏が吃音臨床の必要性を理解し、自身が吃音臨床に当たるという意欲を喚起することが目的である。 授業の概要は、まず吃音についての基礎的な知識について講義し、その中で講師の実際に行っている臨床についても解説する。その後、実際の事例を紹介し、その中で生じるさまざまな出来事について学生諸氏と一緒に考えたい。さらには臨床実践の実際を疑似体験する機会も設ける。そこで吃音者に対する具体的な助言も考えてもらう予定である。最後には講師のこれまで行った学会発表を材料に、吃音臨床についてさらに考える機会を設ける。				
授業の到達目標				
吃音についての合理的な理解ができるようになる。 青年期・成人期の吃音者の心理や困難、苦悩について理解できるようになる。 吃音臨床に対する具体的な心構えが身に付く。				
授業計画				
回	内容			
1	プロローグ：吃音を持って生きることへの想像と洞察 吃音臨床の基礎Ⅰ：検査、評価など			
2	吃音臨床の基礎Ⅰ：検査、評価など			
3	吃音臨床の基礎Ⅱ：指導、訓練技法など			
4	吃音臨床の基礎Ⅱ：指導、訓練技法など			
5	吃音臨床の実際：自験例の提示			
6	吃音臨床の実際：自験例の提示			
7	吃音臨床の実際：指導の疑似体験			
8	まとめ：吃音臨床を考える			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	授業で得た知識を習得していること、事例から吃音臨床の要点を学べていること		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				